



# 夏を無事故で過ごそう!

まだまだ厳しい残暑のため、注意力が散漫になり、危険を見落としやすくなります。交通事故は一瞬の不注意から発生します。運転中は、暑さにも負けず、注意力を保って運転することが大切です!

## ① 注意力の低下が、危険の発見を遅らせる!

交通事故のほとんどは、ドライバーが危険に気づいたときにはもう間に合わない、という状況で起きており、発見遅れや見落としが原因の一つです。

夏バテや睡眠不足、過労・疲労の状態での運転は、注意力のレベル低下の大きな原因になります。ハンドルを握る際は、体調を整えて注意力を持続させましょう。



## ② 注意力の低下しやすい場所・時間に要注意!

運転中に注意力の低下しやすい場所は、交通量の少ない直線道路や緩やかなカーブ、交通量の少ない高速道路、いつも通り慣れた生活道路などです。

また注意力の低下しやすい時間帯は、運転開始から30分前後、食事や仮眠後の30分前後、あと30分で目的地という地点では注意力の低下を招きやすくなります。



## ③ 疲れを感じたら車を止めてリフレッシュ!

運転中に眠気や疲れを感じたら、運転を一時中断して駐車場やサービスエリアなどに車を止め、休憩をとりましょう。

車から降りて、背伸びをするなどして体を動かすことも効果的です。またコーヒーなどのソフトドリンクを飲む、ガムや飴を食べるなどして気分転換をしましょう。それでも眠気を感じたら仮眠を取って身体をリフレッシュさせましょう!



### 1 県内の交通事故発生状況(8月27日現在)

区分	発生件数	死者数	負傷者数
本年	1126	15	1295
昨年	1157	22	1286

### 2 交通事故死者の年代別

年代	64歳以下	65歳以上	合計
死者数	5	10	15
構成率(%)	33.3	66.7	100

- 県警のホームページにも掲載しています。
- 毎月第二・第四水曜日(祝日、年末年始を除く)に新情報をメール配信しています。(申込方法は県警HP参照)
- 二次元コードからSD情報のHPに直接アクセスできます。→

